

講義名称	日本史概論	担当教員名	高山 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	歴史 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	HUM131

授業のキーワード	歴史とは何か、土地・経済政策、価値観の変容
授業の概要	日本史の流れを概観しながら、トピック別に歴史の様々な側面を学びます。歴史学の一分野としての日本史に触れてもらいます。
期待される学習成果 (目標)	1、公務員試験での頻出事項や、歴史知識の基礎を学ぶことができます。 2、中・高での歴史学習を総括することができます。 3、卒業後の進路で必要とされる基礎学力を身につけることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	はじめに	授業の進め方について説明します。日本史の学習体験についてのアンケートを実施します。
2	古代①ヤマト政権と大王	ヤマト政権による中央集権体制の形成について学びます。
3	古代②律令制と荘園	律令制のもとでの土地政策について学びます。
4	古代③源氏と平氏	源平の争乱と、武家台頭の歴史的意味について考えます。
5	中世①武家と公家	鎌倉幕府と朝廷の関係を通して、中世社会の特質について考えます。
6	中世②貿易と貨幣	日宋・日明貿易を通し、貨幣の歴史と対外関係について学びます。
7	中間のまとめ	前講までの学習を総括します。
8	近世①検地と対外政策	戦国大名の土地政策と宗教政策について学びます。
9	近世②江戸幕府の宗教政策	宗門人別改帳を通して、幕府の宗教政策について学びます。
10	近世③幕政危機と改革	江戸幕府の三大改革について学びます。
11	近世④農民と農村生活	江戸時代の身分制と農民の生活について学びます。
12	近現代①維新と廃藩置県	江戸末期の諸藩の政治と、近代における地方自治のはじまりについて学びます。
13	近現代②地券と地租	明治初期の近代的税制の導入について学びます。
14	近現代③	日清・日露戦争と当時の日本社会について学びます。
15	まとめ	全体を総括します。大学で日本史を学ぶ意義について考えます。

定期試験	史料に基づいて歴史的事実を確認できたか、歴史用語が理解できたかを確認します。
授業時間外学習	第1～5講：基本用語の下調べを課します(60分)。6講～10講：授業でわからなかったところを調べ確認します(60分)。11～15講：全体を復習し、試験の準備をします(60分)。
評価方法	授業への取り組み(30パーセント)、試験(70パーセント)
使用する教科書(必ず購入してください)	教科書を使用せず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	日本史教育研究会編『日本の歴史』新泉社 宮地正人監修『日本近現代史を読む』新日本出版社